

入江あき子

立憲民主党
The Constitutional Democratic Party of Japan



12/14 健康福祉常任委員会での質疑

入江 県はコロナ感染状況に迅速に対応できるように、新たなレベルに応じた医療提供体制を計画した(表参照)。病床確保フェーズ3に向けての取組状況はどうか。

健康福祉部副参事 現在1728床(うち重症者用180床)だが、さらなる確保を進めていく。県内の100医療機関(公立・公的病院47/民間病院53)、印旛医療圏では10病院に協力いただいている。

入江 第5波の感染拡大を踏まえ、どのように医療

感染拡大第6波に備える

連携を進めているのか。後方支援病院や診療所等の連携体制、研修の実施状況はどうか。



オミクロン株の市中感染が各地で確認され、コロナ感染拡大の不安を抱えながら新年を迎えました。

12月県議会の健康福祉常任委員会では、県のコロナ対策を中心に質疑しました。その他の質疑要旨については、右のサイトでご覧になれます。



補正予算
376億2500万円

12月定例県議会(11/26~12/21)
新型コロナウイルス対策
オミクロン株急拡大
第6波を抑え込み
命と暮らしを守る

医療提供体制確保計画 (11/25 策定)

フェーズ (局面、時期)		1①	2②	3③
(①②③は国のレベル)		隔離を主目的とした入院もあり	入院治療が必要な場合に原則入院	優先順位をつけた入院
入院療養	確保病床数	927	1299 (※1)	1736 (※2)
	うち重症	78	124	180
	臨時の医療施設 入院待機施設	0	約200 (※1に含まず)	約200 (※2に含む)
宿泊療養	確保部屋数		2000	

千葉県新型コロナウイルス感染症対策本部資料を基に作成

入江 今後の感染拡大に備え、保健所のマンパワーの増強など体制強化をどのように進めているのか。

健康福祉政策課長 陽性者自身が症状や緊急連絡先等を入力するイマビスというシステムの活用、民間委託による自宅療養者フォローアップセンターでの健康観察業務の実施などにより、保健所業務の負担軽減・効率化の取組を進めていく。併せて感染拡大の兆候が見られる段階から、県職員を保健所に派遣する全庁応援体制の確立、市町村への協力依頼、人材派遣の活用などにより、人員を確保していく。

保健所機能をパンクさせない

入江 市民への広報も含め、県民が発熱した場合に迷うことなく医療にアクセスできるように一層進めてほしい。

隣があるときは
千葉県HP

年末年始も安心できる医療体制に

入江 現在の発熱外来の指定状況はどうか。また、夜間休日、年末年始に向けた地域の受入体制をどのように進めているのか。

副参事 現在の指定数は787か所。指定病院の年末年始の対応予定を把握すると同時に、市町村の夜間休日診療所や当番医での発熱患者への外来対応、地域の拠点病院等での急病患者への対応など市町村や医師会等と連携し、体制の充実に努めてまいりたい。

入江 市民への広報も含め、県民が発熱した場合に迷うことなく医療にアクセスできるように一層進めてほしい。

入江 ちばぎん研修センターの他、さらなる臨時の医療施設開設に向けての検討状況はどうか。これまで感染拡大が深刻だったエリアを優先して進めるのか。

副参事 現時点で確定している案件はないが、引き続き市町村や地域の医療機関等とも連携を図りながら、設置の可能性を探っていく。これまでに感染者数が多かった地域については、候補地の一つとして検討していく必要があると考えている。

他のエリアにおける開設費
13億4000万円



12/24 ちばぎん研修センター臨時医療施設視察

- ◆臨時医療施設 1100床
- ◆プレハブ宿泊療養施設50床
- ◆内装・外構等の初期整備費 2億7000万円
- ◆医師看護師の人員費等 (民間への包括外部委託方式) 13億円

新たな臨時の医療施設
29億1000万円

12/21 健康福祉常任委員会



臨時医療施設に設置された酸素供給装置
千葉県HP



入江 検査登録事業者の箇所数はどれぐらいを目指しているのか。

疾病対策課長 約1000箇所の登録を想定している。検査拠点が特定の地域に偏らないよう、関係団体等に要請していく。

入江 検査実施の想定者数や薬局等における体制整備をどのように進めているのか。また県民への広報周知はどうか。

疾病対策課長 対象者の検査回数は87万回分としている。検査実施事業者の確保に向けて、県薬剤師会等に協力要請している。今後の情報はホームページ等で広報していく。

PCR等検査無料化事業
21.8億円

入江 健康上の理由等によるワクチン未接種者が陰性の証明等を求める飲食店やイベント等を利用できるように、必要となる検査費用を無料化

入江 第5波では自宅療養者が激増したが、その時の搬送体制と比べどの程度改善できるのか。

疾病対策課長 第5波の時は搬送車両36台だったが、現在47台となっている。本事業により、感染拡大時には最大90台程度に増強する。搬送調整とホテル療養入所調整の一括業務委託により、保健所業務の負担軽減が図られる。

宿泊施設等への患者搬送体制の強化
6億円

追加補正予算の質疑

10/22 環境生活部

- カーボンニュートラル 実効性ある県庁エコオフィスプランに
- 少なすぎる 県有施設への再生可能エネルギー導入
- ナガエツルノゲイトウ駆除事業 **その1**
- 侵略的外来種 全庁的な戦略が必要
- 令和2年度から各部署で印旛沼での駆除事業がスタート

白い可憐な花の水草だが、繁殖力が強く印旛沼や手賀沼その流入河川に広がり、農業や利水・治水でも支障をきたしている。昨年度、環境生活部では印旛沼での繁茂状況を調査し、主に西沼で約8万㎡存在していることが判明。今後の駆除に向け、刈り取り後の陸揚げや保管場所の選定を進めている。

農林水産部では、沼周辺の排水路の群落の駆除を始め、国の研究機関や土地改良区との連携で防除方法も研究中。

県土整備部でも分布範囲が年々拡大しているため、排水機場の運転に支障のないよう、昨年度から駆除をスタート。令和2年度駆除費用の決算額は、3部署合計で1億1500万円にものぼる。10年ほど前に熱帯魚等と一緒に売られたものが沼に持ち込まれたのが発端といわれており、その被害はあまりにも大きい。

8/4 ナガエツルノゲイトウ現地調査



枯れ茎からも繁殖が旺盛



決算審査特別委員会で質問しました

令和2年度決算審査が6日間行われ、10部署において質疑しました。それぞれの答弁要旨は、ホームページかQRコードからご覧になれます。



11/5 教育庁

- 返したくても返せない 給付型奨学金は必要
- 夜間定時制で学ぶ高校生に温かい夕食を
- 千葉県立美術館 予算をつけて活性化を



11/9 企業局

千葉ニュータウン県道北環状線 開通の見通し立たず

6年前から工事がストップし、全長12kmのうち約1kmが未開通のまま。県企業局の道路用地に高さ10mの産廃が違法に積み上げられ、37億円もの撤去費が必要となる。産廃の上で操業する業者に対し、3億円もの立ち退き等補償金を出してきたが、元経産相の現金授受、UR都市再生機構への口利き疑惑も明るみになり、現在も膠着状態。決算審査では、補償交渉がまとまった場合の新たな県の費用負担や対応について確認した。



10/24 積み上げられた産廃



11/9 防災危機管理部

- 防災リーダーの養成 市町村の取組みに温度差
- さらなる活用を 県防災研修センター
- 災害時に役所が機能不全にならないための市町村業務継続計画(BCP)



11/15 県土整備部

- 公共用地取得のための補償交渉 丁寧なコミュニケーションが必要
- 道路の安全対策 優先順位は?
- 危険ながけ地対策 地権者の負担なしには進まない
- ナガエツルノゲイトウ駆除事業 **その3**

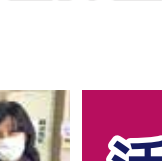


12/1 佐倉市役所裏がけ地対策



11/15 健康福祉部

- 超高齢化社会 在宅医療の充実は待ったなし
- 県立保健医療大学 今後のあり方検討が急務



10/22 総務部

- 県職員のテレワーク推進 目標を定めて
- 不正告発事案で明らかになった派遣先での高額手当 返せば済むのか?問われる職員のコンプライアンス
- 庁内のセクハラ・パワハラ 泣き寝入りさせない



10/25 病院局

- 県立病院の医師不足 どうすれば解消できるのか?
- 研修医を呼び込み、育てるための戦略



10/25 農林水産部

- 新規就農 下限面積がカギ 有機農家を増やす
- 田んぼダム 洪水被害軽減に期待大
- ナガエツルノゲイトウ駆除事業 **その2**



10/26 総合企画部

- 県内の水道料金格差2.6倍 県の補助金で値上げを防ぐ
- 女性・男性・LGBT 様々な悩みを受けとめて



国に意見書を提出しました

- ★女性と子どもの自殺防止対策の強化を求める意見書
- 12/14 常任委員会 コロナ禍での自殺防止対策を求めて質疑→
- ★いじめ対策の強化を求める意見書
- ★現下の米の需給環境に対する緊急特例措置を求める意見書
- ★令和3年8月に発生した小笠原諸島の海底火山噴火による軽石漂着被害等への対処を求める意見書



9/14 災害に強い森づくり事業 熊谷知事と視察



10/14 大利根分館・11/25 県立中央博物館



11/25 県立がんセンター がん患者の就労生活支援を行う NPO 団体との意見交換



12/17 千葉県立保健医療大学

2月県議会の予定 開会2/1~閉会3/18

2/22(火)	会派代表質問
2/24・25・28・3/1・2	一般質問
(入江の登壇日が決まり次第サイトに掲載します)	
3/4・7・8	予算委員会
3/9・10・14・15	常任委員会



10/21 新年度予算・制度要望書 知事と手交

入江あき子事務所

〒285-0846 佐倉市上志津 1621-8 (2階)
 電話 / 043-420-8758
 fax / 043-420-8759
 mail/groundwater.sakura@gmail.com

詳しくはこちらをご覧ください

入江あき子サイト URL/ <https://irieakiko.jp/>

いのちと暮らし、守り抜く



プロフィール

1965年
宮城県仙台市生まれ
1988年
国際基督教大学(ICU)
教養学部社会科学科卒業
2003年4月~
佐倉市議会議員
2011年4月~
千葉県議会議員

2019年4月~現在

千葉県議会議員3期目
健康福祉常任委員会委員
議会運営委員会委員
会派「立憲民主・千葉民主の会」政調会長
立憲民主党千葉県連 組織委員長
連合千葉議員団会議所属
千葉県地方自治研究センター所属
千葉県議会地震・津波対策議員連盟所属
千葉県議会資源エネルギー問題懇話会所属
千葉県フリースクール等教育機会確保議員連盟所属
全国災害ボランティア議員連盟所属

活動報告
まずは現場へ